

新津工業高等学校 全日制課程・工業科

スクール・ミッション（社会的役割等）

【日本独自の匠の技と現代的技術を習得し、地域のものづくり人材を育成する学校】

- ・「工業をもて人を益せん」の精神のもと、日本独自の匠の技と現代的技術を兼ね備えた技術を習得し、地域のものづくり産業の発展を担う人材を育成する。
- ・健康の増進と体力の向上を図り、他者を思いやり、多様性を尊重し、新たな時代を切り拓くために必要な倫理観をもった、豊かな人間性の育成を目指す。

スクール・ポリシー（三つの方針）

★グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ①次世代の産業界の発展を担う、情報社会に対応した知識・技術と匠の技を習得し、活用できる力を育成します。
- ②主体的に工業的な課題を発見するとともに、課題解決に向けた方策を考え、実践する力を育成します。
- ③ものづくりをとおして、他人を思いやる気持ちや多様性を受け入れて協働し、新たな価値を創造する力を育成します。
- ④地域の産業界の発展を担うために必要な職業観や勤労観、工業技術者としての倫理観や態度を育成し、地域を大切にすることを育成します。

★カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ①ものづくりに必要な確かな学力、高度な技術の習得及び課題の発見とICTを活用し解決する実践力向上に向けて取り組みます。
- ②地域の企業や高度熟練技術者等と連携しながら、実践的な実習により実技を重んじて取り組みます。
- ③製品を使用する人の気持ちを考えることで、創意工夫により新たな付加価値の創出に取り組みます。
- ④キャリア教育をとおして、望ましい勤労観・職業観及び地域を大切にすることを育む学習に取り組みます。
- ⑤身につけた知識・技術の証として、資格取得に向けて取り組みます。

★アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

～このような生徒を求めています～

- ①「ものづくり」に強い興味、関心があり、ものづくりに必要な力の向上に意欲のある生徒
- ②創意工夫して主体的に判断し、問題を解決しようとする生徒
- ③他者の意見を謙虚に聞き、協調して行動できるコミュニケーション力のある生徒
- ④学習のみならず、部活動等を通して様々な文化に触れ、心身の健康を維持し、体力を向上させようと意識し、実践する生徒
- ⑤身につけた知識・技術を活かして地域産業界の発展を目指す生徒